

長崎県民100人に聞きました (インターネット&ヒアリング)

再生可能エネルギーについて

石油・石炭などの化石燃料に対し、太陽光や水力、風力、バイオマス、地熱などは、再生可能エネルギーとされています。

長崎県でも地域の特性に応じた再生可能エネルギーの導入促進の取組みが進行中です。

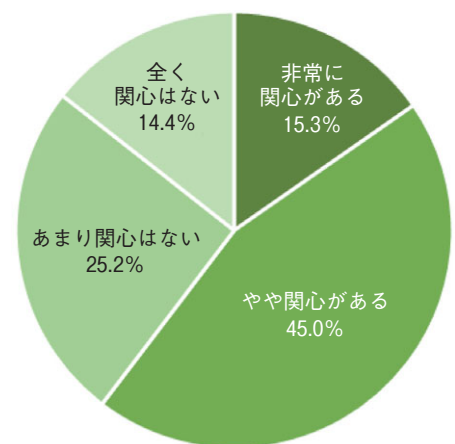
今回は、こうした再生可能エネルギーに対する関心度、家庭への導入の意向などについてアンケートを行い、県内在住の男女111名より回答を得ました。

再生可能エネルギーの普及について

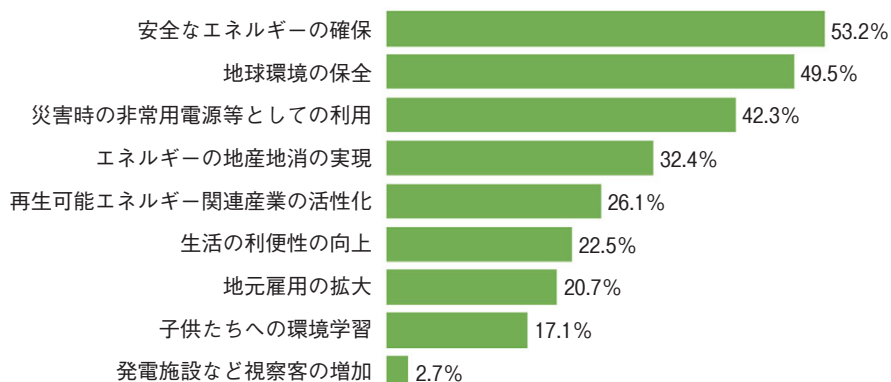
再生可能エネルギーの普及について、関心の度合いを尋ねたところ、回答者全体の6割に当たる人が「関心がある」と答え、4割に当たる人は「関心がない」と答えました。

また、再生可能エネルギーが普及することによって、今後どのような効果を期待するか尋ねたところ（複数回答）、「安全なエネルギーの確保」と答えた人の割合が53.2%と最も多く、次いで「地球環境の保全」（49.5%）となっており、再生可能エネルギーに対して、「安全」「環境にやさしい」といったイメージが強いことがうかがえます。

再生可能エネルギーへの関心 (N=111)



再生可能エネルギーの普及によって期待される効果 (複数回答、N=111)



調査方法：(有)みかんコミュニケーションズが運営する長崎県内女性ネットワークMONET登録会員を中心にインターネット及びヒアリングにより県内在住の18歳以上男女111名より回答を得ました。

調査期間：2018年10月4日(木)～10月10日(水)

回答者属性：【性別】男性38名、女性73名 【年齢】10～20歳代13名、30～40歳代47名、50～70歳代51名
【居住地】県南91名、県北4名、県央11名、離島5名

再生可能エネルギーの普及について（抜粋）

- エネルギーの地産地消が進むと、環境をテーマに需要の拡大や雇用の創出が見込めると思う。（長崎市40歳代男性）
- 太陽光パネル、取り付けたいけど費用がかかる。（長崎市40歳代女性）
- 天気に左右されたり、導入価格が高かったりするが、最近災害が多いので、家庭のベランダに置けるようなコンパクトな太陽光パネルや充電池があれば導入したい。（長崎市50歳代女性）
- 何れは殆どのエネルギーを再生可能エネルギーにするべきだが、その鍵は電池であろう。（長崎市50歳代男性）
- 長崎は地形的に保水しにくく、他の府県に比べて環境条件が厳しいので、古くからある造船業の技術を生かし、積極的に再生エネルギーに取り組むべきだと思う。（長崎市50歳代男性）
- 電気料金領収書を見ると「再エネ賦課金」というのが1,200円ほど追加されています。現在、我家には全くそのシステムはないけど、電気利用者が平等に負担する、というのがどうしてもわかりません。（長崎市50歳代女性）
- 限りあるエネルギー資源。いつまでも他国からの輸入に頼れるものではない。自国で作れる物は安全に作るべきと思う。（長崎市60歳代女性）
- 詳しくは分からないが、地球（自然、動物、植物、環境）に優しいものが多い。人間は安易に資源を使いすぎると思う。（長崎市40歳代女性）
- 自然の力を使うことは魅力的ですが、安定供給に少し心配があります。（諫早市40歳代男性）
- 今はまだコスト高。低価格で効率よく運用出来るようになって欲しい。（長崎市40歳代女性）
- 太陽光発電の買い取りの金額の変化が気になります。（長崎市40歳代男性）
- 再生可能エネルギーは、実際設備投資にお金がかかるものだ。使用できなくなったら、粗大ゴミになる。山を切り開いてパネル設置しているのを見ると、環境破壊して将来のゴミを置いているような気がする。（長崎市50歳代女性）
- エネルギー源は、一つに頼ることなく多様化を図ることは必要。（長崎市50歳代女性）
- 国際情勢に影響されない、自国での十分なエネルギー源の供給と安定した価格が実現できるようになることを期待。（長崎市50歳代女性）
- 日本の未来のために開発が進み、容易に利用できるようになってほしい。（対馬市50歳代女性）
- 新しいエネルギーとして広く理解されるように広報活動をやるべき。（長与町50歳代女性）
- 石油や石炭は限りがあるし、原子力は不安なので再生可能エネルギーをもっと増やしてほしい。（長崎市50歳代女性）
- 安定供給が不安。（五島市50歳代男性）
- 高いガソリンに代わるエネルギーが安価で出来ると良いと思う。（大村市50歳代女性）
- ゴミとして処理するものから、エネルギーを取れたら良いと思う。（長崎市50歳代女性）
- みかんがとれる地域は、太陽が豊かに照るので、皆が太陽光パネルを屋根につければ、原発エネルギーを脱することは出来る。がんばれ長崎。（佐世保市40歳代女性）
- 福島地震で、原子力発電の怖さを感じた。別のものに対応出来たら安心。（長崎市60歳代女性）



家庭への再生可能エネルギーの導入の意向

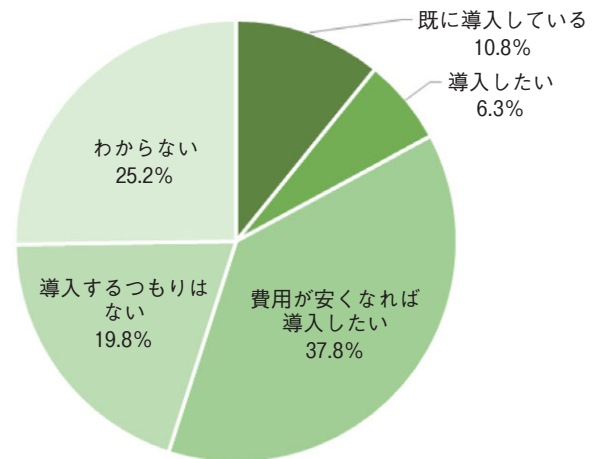
再生可能エネルギーについて、家庭への導入意向を尋ねたところ、約1割の人が「既に導入している」と答え、そのほとんどが、太陽光発電システムを導入していました。

また、「導入したい」「費用が安くなれば導入したい」と答えた人は4割超で、その多くは太陽光発電を導入したいと考えていることがわかりました。ただし、「初期費用が安くなり、毎月の光熱費が軽減されて、もとがとれるのであれば何でも導入したい」（長崎市40歳代男性）や、

「太陽光発電システムのコストが低く抑えられたとしたら、導入を検討してみようとする」（佐世保市60歳代女性）といった意見にみられるように、費用面で導入に踏み切れないでいる様子うかがえます。

一方、「導入するつもりはない」と答えた人は約2割で、その理由については、集合住宅などの住まいの事情によることの他に、「コストを回収出来ない」（長崎市40歳代男性）や「どれくらいメリットがあるのかわからない」（長崎市50歳代男性）、「導入したとしてもコストがかかればあまり便利だとは言えないと思う」（長崎市40歳代女性）といった意見が挙げられました。

再生可能エネルギーの家庭への導入意向 (N=111)



県内大規模洋上風力発電所（ウインドファーム）計画の認知度

五島市沖などで計画が進められている大規模洋上風力発電所（ウインドファーム）については、「よく知っている」「知っている」と答えた人の割合は、全体の約3割で、「全く知らない」と答えた人の割合は、全体の4割強でした。

「県の予算がどれくらい使われるのか、採算がとれるのか不安はあるが良い取り組みだと思います」（諫早市30歳代女性）と期待を寄せる意見もみられました。

県内大規模洋上風力発電所について (N=111)

